

深川小学校保護者 様

令和 4 年 1 2 月学校評価アンケート集計結果及び改善プランについて

長門市立深川小学校  
校長 矢野 裕之

平素より本校教育の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。  
さて、12月に実施しました今年度2回目の学校評価アンケートでは、保護者の皆様に御協力いただき、大変ありがとうございました。先日の学校運営協議会にて、アンケートの集計結果と改善プランについて報告し、今後の対応について検討いたしましたので、下記のとおり御報告いたします。

記

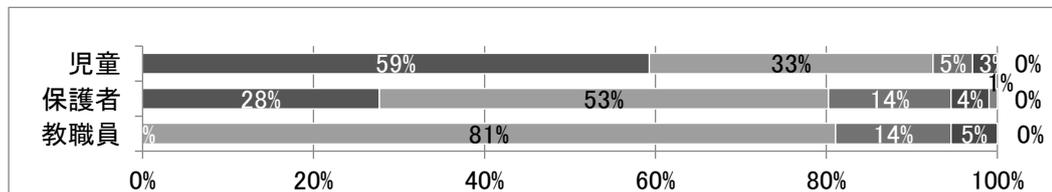
1 アンケート実施概要

- (1) 実施日 令和4年12月15日～22日
- (2) 実施対象 児童 460名 保護者 460名 教職員 42名
- (3) 回収数 児童 451部 保護者 314部 教職員 37部
- (4) 回収率 児童 98.0% 保護者 68.3% 教職員 88.1%

2 項目別アンケート集計結果及び考察 (○)、並びに改善プラン (☆)

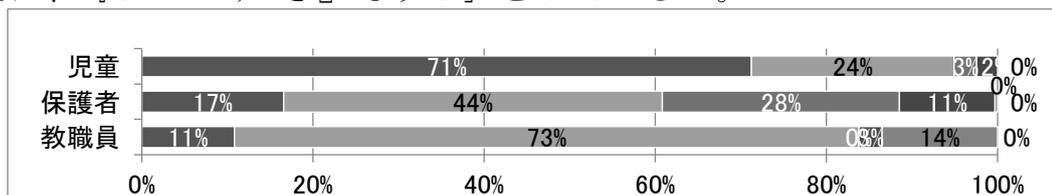


- (1) 児童は、『笑・自・気』あいさつ』をしているか。  
12月



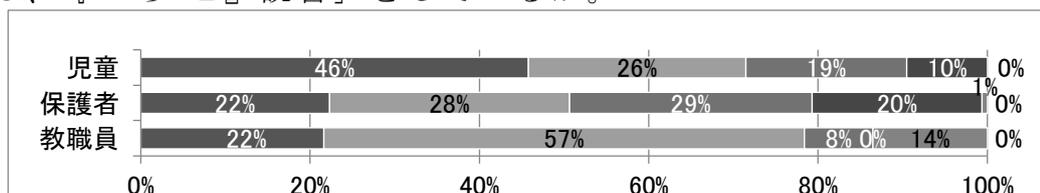
7月との比較 (肯定的回答) 児童-2P、保護者±0P、教職員+10P

- (2) 児童は、『だ・い・す・き』そうじ』をしているか。  
12月



7月との比較 (肯定的回答) 児童-1P、保護者-1P、教職員-2P

- (3) 児童は、『いち・ご』読書』をしているか。  
12月

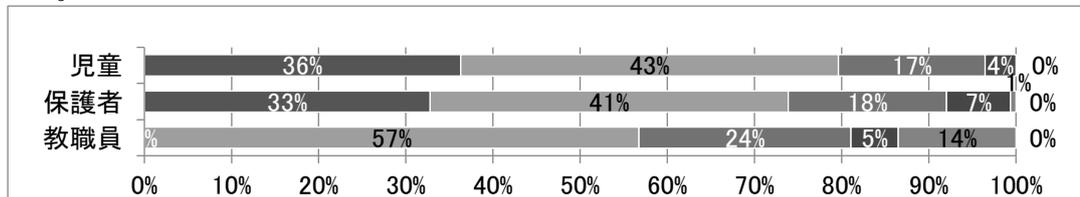


7月との比較 (肯定的回答) 児童-5P、保護者±0P、教職員±0P

○ チャレンジ目標に関する質問項目では、(1)挨拶の教職員の評価が高くなっており、プラス1も定着してきた。読書は、昨年度よりポイントが下がったままで、課題が残った。  
 ☆ 読書については、代表委員会で議題として取り上げ、学校運営協議委員や朝摘みいちごの方との熟議を行いました。出された様々なアイデアを取り入れ、児童の思いをくみ上げながら読書の促進を図っていきます。

(4) 児童は、授業の構え（筆箱の中身・1分前着席・次の時間の用意）ができているか。

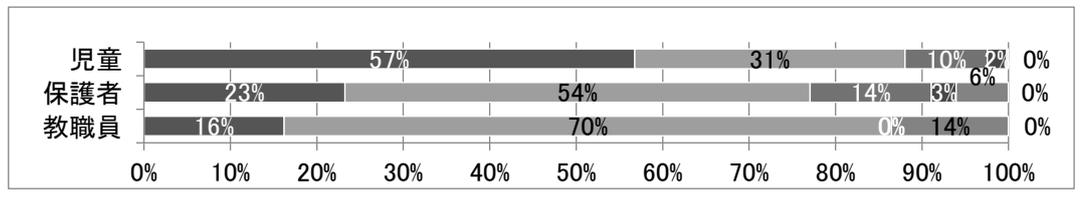
12月



7月との比較（肯定的回答） 児童-5P、保護者-8P、教職員±0P

(5) 児童は、対話的な学びを通して自分の意見を積極的に表現できているか。

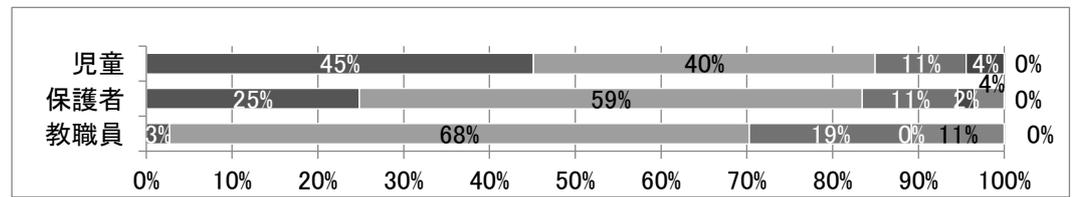
12月



7月との比較（肯定的回答） 児童±0P、保護者+5P、教職員+16P

(6) 児童は、人の意見や行動に流されず、自分で考えて判断し正しく行動しているか。

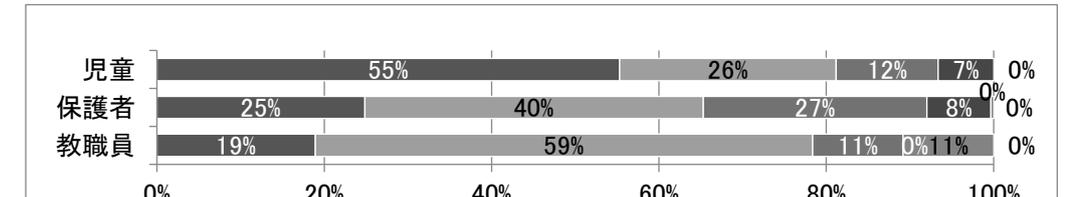
12月



7月との比較（肯定的回答） 児童-1P、保護者+2P、教職員+11P

(7) 児童は、「深川 de チャレンジ」など体力向上に取り組んでいるか。

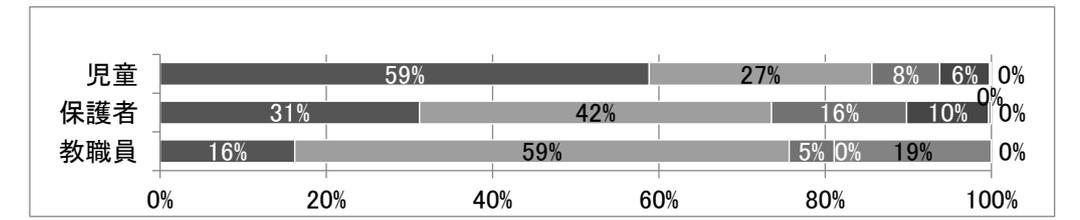
12月



7月との比較（肯定的回答） 児童±0P、保護者+5P、教職員+11P

(8) 児童は、学年にふさわしい時間、家庭学習をしているか。

12月



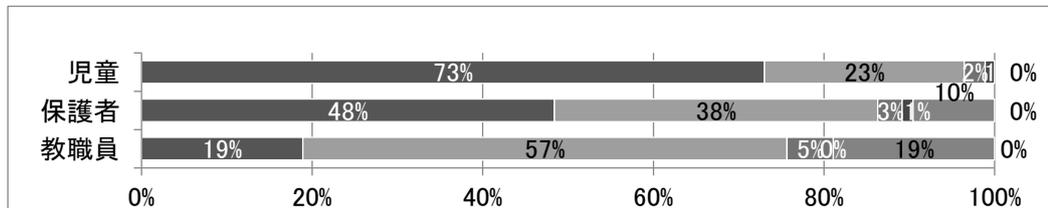
7月との比較（肯定的回答） 児童+2P、保護者-5P、教職員+13P

○ 児童に関する項目では、項目(5)対話的な学びは、評価が高くなった。多くの授業で、授業中に友だちと意見交流する場を設定している。今後も学びを深められる授業作りを行う。(7)体力向上については、「スカイスロー」「砂場」など外遊び器具が増え、取組が充実した。

☆ 体力向上及び家庭学習の目的は「習慣化」であり、学校と家庭の連携が大切です。家庭学習については学年×10+10分の日安の時間を示しています。今後も習慣化の確立をめざします。

(9) 教師は、分かりやすく勉強を教えているか。

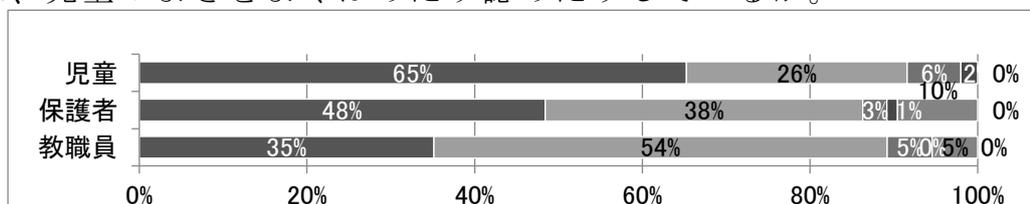
12月



7月との比較（肯定的回答） 児童-1P、保護者-2P、教職員-4P

(10) 教師は、児童のよさをよくほめたり認めたりしているか。

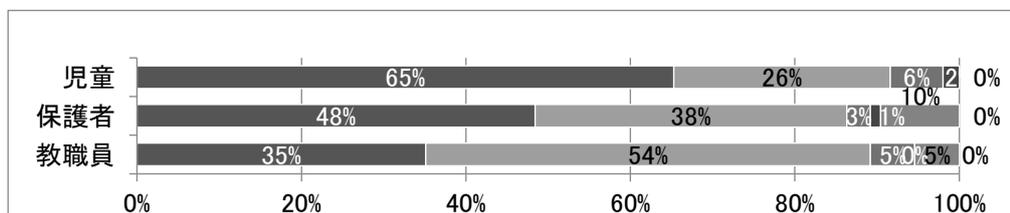
12月



7月との比較（肯定的回答） 児童-4P、保護者±0P、教職員-8P

(11) 教師は、児童の話をよく聞いているか。

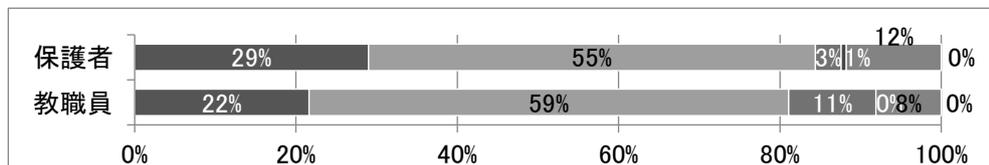
12月



7月との比較（肯定的回答） 児童±0P、保護+1P、教職員+5P

(12) 教師は、保護者・地域と連携した教育に努めているか。

12月



7月との比較（肯定的回答） 保護者-4P、教職員+2P

○ (9)(10)については、7月の結果と比べると肯定的回答が減ったが、児童の肯定的回答は前回と同様9割以上と高い水準を維持できた。(11)については、教育相談月間だけでなく、日常的に相談の機会の確保に努めてきたことへの一定の成果だと考える。

☆ 今後も学校全体で褒める機会を増やしたり、共感的に話を聞いたりすることを続けていきます。また、地域と連携した教育については、学校から発信される情報を家庭と地域がより共有できるよう、デジタルとアナログの両方の活用等を続けていきます。

### 3 自由記述のまとめ及び改善プラン ※ 主なものを抜粋しています。

意見	改善プラン
<p>(1) アンケートに名前を書いたら、アンケートの意味がないように思う。本音を書きにくくなる。</p>	<p>学校評価アンケートへの名前記入は任意としています。「できる限り記入」とお願いしているのは、自由記述で詳しくお考えを尋ね、よりよい対応を検討したい場合があるためです。今後も名前の記入については、保護者の方のご判断にお任せしたいと考えています。</p>
<p>(2) 濃厚接触者で、本人の健康状態に問題がない場合に zoom 等で授業に参加出来るようになればと思う。みんなと一緒に授業を受けたいと言っていた。それと、せっかく 1 人 1 台タブレットがあるので、もっと授業や学校生活で活用してほしいなと思う。</p>	<p>濃厚接触者指定で数日間欠席する場合のリモート学習については、実施に向け少しずつ準備しているところです。低学年では、使い方が十分でなく、まだ行えない状況です。また、実施する予定にしていた場合でも、wifi環境が整っていない児童がいる場合、中止することがあります。全校一律となりそうにないことは、申し訳なく思っています。学校生活での活用場面は、かなり増えています。今後も、有効的な活用方法を研修していきます。</p>
<p>(3) 家庭学習で、パソコンを持ち帰る日があるが、パソコンが入るとランドセルが重すぎて、大変な様だ（通学距離も長い為）。パソコン持ち帰りは、学級閉鎖等の緊急時のみにしてはどうか？又は、その日家庭で不要な教科書は、置いて帰るなど、ランドセルが軽くなるように考慮して欲しい。成長期の子どもに重すぎる荷物はあまり良くないかと思う。</p>	<p>タブレットの活用が推進され、5・6年生はタブレットを使った学力テストが全県で実施されています。操作に慣れるためにも、今後タブレットを持ち帰る機会は増えてきます。一方、これまでの荷物にタブレットが加わることで、ランドセルの中身は当然重くなります。これからは、ランドセルの中身がいっぱいにならないように、持ち帰る際には、学年で共通理解を図って配慮していきます。</p>
<p>(4)①宿題の種類、量が多いと感じる。深川小は他校に比べ学校全体での学力評価をととても気にしているように感じる。日によってはもう少し宿題の量を減らしてもいいと思う。子どもがリフレッシュ出来る時間も大事。 ②家庭学習目安くらいの宿題やいちご読書を宿題でだしてほしい。親が言ってもやらないので、宿題で間違えたところを繰り返してできると助かる。</p>	<p>家庭学習については、右記①②のように、各家庭から様々な意見をいただきました。学校としては、小学校での家庭学習の習慣が中学校の学習にもつながると考えています。学年の目安の学習時間は、時間配分を考えて、全員に共通の基礎基本の定着を図る内容と自分に必要な内容を工夫する自学に取り組んでほしいと考えています。</p>
<p>(5) 生活リズムチェック、深川でチャレンジ、読書の紙、親子で取り組めてとてもいい活動と思うが、まだ低学年で親と一緒にしなければいけないので3つ同時に始まったら親の都合と、学校のいつもの宿題、習い事などの兼ね合いでどうしても時間がおしてしまい1つを丁寧に取り組むのが難しい。少しずつ時期をずらして頂けたら集中して余裕をもって取り組みやすいと思う。</p>	<p>今後は3つの取組を分けて実施することとします。具体的には、からだに関係する生活リズムチェックと深川 de チャレンジを同時に、心に関係する親子読書は別の期間に実施します。家庭へお願いすることでもあるので、保護者の意見も受け入れ、無理のない取組としたいと思います。</p>